

背景

- ・慢性的な少子化の進行、それに加えて、近年の理工学系志願者の減少による**日本人ITエンジニアの慢性的な不足**
- ・顧客のコスト意識の高まりから、開発における**価格競争が激化**

経済成長が停滞している日本では、**情報システム市場規模が飽和状態**になり始めている

- 経済環境の悪化によるシステム投資の考え方の変化
- ・プロジェクトが成功しても、**業務に貢献しなければ「無駄な投資」**
 - ・ROI向上のため、**システム開発期間短縮の要望**

現状

日本人ITエンジニアの**不足の補てん**、また、競合他社に対し**価格の優位**を維持したまま**収益を確保**するために、**オフショア開発の活用が必須**

世界規模の市場をターゲットにした **ITビジネスグローバル化戦略の必要性の高まり**

- ・これまでのウォーターフォールモデルのみでの開発の限界
- ・**アジャイル開発**や**テストング**などの様々なツールの活用が必要

総合課題

- ◆ オフショア開発及びグローバル戦略に不可欠な**グローバル感覚の習得**、及び**異文化コミュニケーション能力の向上**
- ◆ スピーキング/ヒアリングに重点を置いた**英語によるコミュニケーション力の強化**
- ◆ CMMIに基づく**品質管理、プロジェクトマネジメント**の更なる理解と遂行
- ◆ 現状、組織に取り入れることが出来ない**手法/ツールの認識/理解及びその導入**

Vertex Japan To Pune (J2P) Training: 若手エンジニア向けグローバルリーダー研修コース

グローバルな適応能力に焦点

- ・ 総体的なプログラムにより、英語によるコミュニケーションスキルと技術力を備えるグローバルスキルの習得
- ・ 実際に現地技術者とコミュニケーションを密にとるため、能動的に短期間で実践能力を向上

シニア層との豊富な交流機会

- ・ オフショア開発の現状やグローバル・デリバリ・モデルの理解を一層深めるために、CEOやVice Presidents, Delivery Managers, Project Managersとの交流・対話

Highlight

机上での学習だけでなく、即戦力を！

- ・ 講義を受講するだけでなく、hands on assignment (実習)により、オフショア開発を体験するとともに、
 - * 日本ビジネス と 欧米ビジネス
 - * ウォーターフォールモデル と アジャイル開発
 - * 手動テストング と テストング自動化
 の違いを実際に経験することで、より深い理解と即戦力を身につける

異文化コミュニケーション能力の向上

- ・ 異なるビジネス文化や慣習、生活を体験することで、異文化を総合的に理解/受け入れる能力を習得
- ・ 国際間プロジェクトにおいて生じる問題を真のグローバルリーダーとして調整・交渉できるスキルを習得

◆ Pune現地研修期間: 2012/ 02/06 (月) ~ 2012/03/14 (水)

- ◆ 渡航日: 日本⇒インド(プネ) = 2012/02/05(日)
インド(プネ)⇒日本 = 2012/03/15(木)

<推奨航空便>

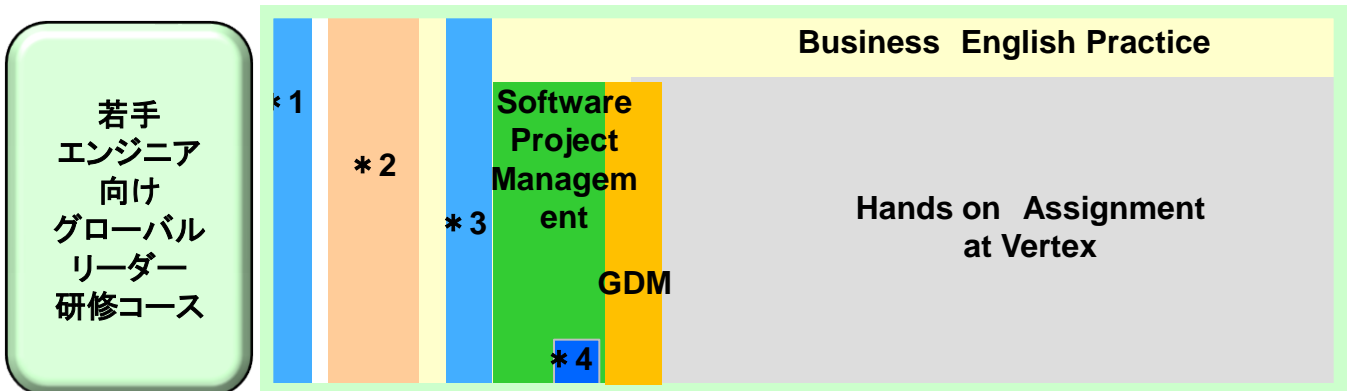
2012/02/05 JL(JAL)749 成田11:30発 デリー18:20着
IT(Kingfisher) 154 デリー21:10発 プネ23:10着
2012/03/15 IT157 プネ14:35発 デリー16:40着
JL740 デリー20:20発 成田(翌日)07:10着

- ◆ 期間A / B どちらのコースにおきましても、以下2プログラムは東京にて実施いたします。

- 日本ご出発の約1ヵ月前: 事前オリエンテーション
- 日本ご出発の約1週間前: Cross Culture Communication (CCC) * 異文化コミュニケーション

- ◆ 受講対象者: ➢ 2年以上の経験があるIT技術者 (入社2年目~20年以上の技術者受け入れ実績あり)
➢ 目安となる英語力: TOEIC 550点以上

◆ コース概要:



Trainees in Class room



Course Material

No	プログラム	時間(h)
1	*1 事前オリエンテーション	2
2	*2 Cross Culture Communication	8
3	*3 現地オリエンテーション	5
4	*4 Panel Discussion with Vertex CEO	2
5	Business English in Practes	52
6	Software Project Management	26
7	Global Delivery Model (GDM)	16
8	Hands on Assignment at Vertex	145
Total		256
9	Buddy Program on Saturdays / weekdays	

2011年度 Japan To Pune (J2P) Training: 若手エンジニア向けグローバルリーダー研修コース (現地研修 約6週間コース)

(事前)オリエンテーション

- ・ 研修先インド及びブネの経済/文化/生活状況 理解
- ・ 研修プログラム/滞在先の環境理解
- ・ 現地でのDo/Don't、インド携帯配布、Vertexサポート体制説明

Cross Cultural Communication

- ・ 異文化を理解することで、日本文化、日本におけるビジネスを客観的視点から観察
- ・ 様々な観点から物事を捉え異文化を理解することでコミュニケーション能力を向上させる
- ・ 国籍/国籍に捉われないこと、国際的な領域で活躍する為に必要な理解力・調整力・交渉力を習得

Business English

- ・ ロールプレーより実践で生きる英会話スキルの強化
- ・ パネルディスカッションを通じて、特にスピーキング能力の向上
- ・ 有効的にビジネスを行う手段としてのビジネスコミュニケーションを理解

Software Project Management

- ・ PMBOKをベースに、プロジェクト管理に必要な効率的・現実的なプロセスを理解した上で、Hands on Assignments に必要なVertex社内プロセス/Knowhowを理解する
- ・ US/日本向けの開発プロジェクトのプロセスなどの差異、Agile開発手法をケーススタディを通じ理解

Global Delivery Model (GDM)

- ・ グローバルコラボレーションの仕組み理解
- ・ GDMケーススタディから成功/失敗するGDM基本アーキテクチャ及びマネージメント/パラメータ理解
- ・ 契約形態/リスク及びその回避方法/コミュニケーション/法的見地など、包括的に理解

Hands On Assignment

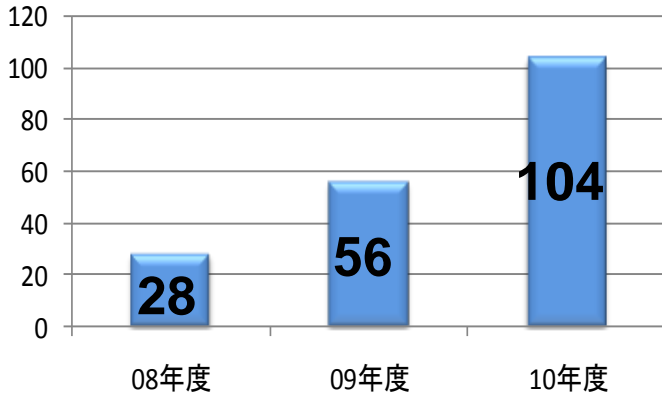
- ・ 上記で学習した内容を、実際のプロジェクトにてプラクティス
- ・ プロジェクトマネージャ/リーダーもしくはメンバーとしてオフショア開発現場を経験
- ・ US/EU向けプロジェクトやオフショア開発を通じて、日常業務では得られない視点/観点を学習

バディープログラム 課外活動

- ・ ビジネス上だけでなく、異文化における生活、習慣、風習を肌身で感じ取る
- ・ 相手の国籍/言語に関係なく、自然体でのコミュニケーション能力を習得
- ・ 相互に刺激し合える環境であるため、仕事やキャリアに対するモチベーションが向上

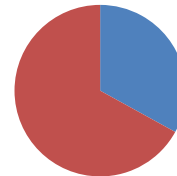
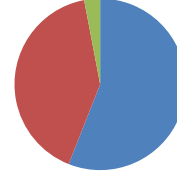
研修費用に含まれる項目	研修費用除外項目
Pune空港 or Mumbai空港 ⇄ Pune市内宿泊施設往復 (移動手段:チャーターバス)	パスポート申請費用(未取得者のみ)
平日: 宿泊施設 ⇄ 研修施設 送迎 (移動手段:チャーターバス)	Visa取得費用(申請料目安:日本国籍の場合=¥1,200)
研修期間のPune宿泊施設宿泊費 Check in: 2012/02/05 Check out: 2012/03/15	海外旅行保険 各種予防接種費用
約6週間(40日間) 研修プログラム: - 渡航前事前オリエンテーション - Cross Culture Communication - 現地オリエンテーション - Panel Discussion with Vertex CEO - Business English - Software Project Management - Global Delivery Model (GDM) - Hands on Assignment	自宅 ⇄ 日本国内空港までの交通費 日本国内空港 ⇄ Pune空港 or Mumbai空港までの渡航費 インド現地携帯電話の通信/通話料金 (研修生様間での通話は無料) (個人使用の通話のみ月末及び研修最終週に各研修生様にご請求) 食事: 平日の夕食、土日祝日の昼食、夕食
平日(1回/週)/週末(隔週)のバディープログラム	
インド現地携帯電話 貸与(レンタル代)	
食事: 平日: 朝食@宿泊施設、昼食@Vertex Café Terrace 土日祝日: 朝食@宿泊施設	

受入研修生数実績

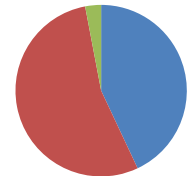


研修生の本人理解度(2010年度)

Cross Culture Communication (CCC)



Project Management (PM)



Hands On Assignments

- 高
- やや高
- やや低
- 低

TOEIC score

平均: 研修前 632
研修後 735
最高アップ:
275点の向上

研修生のコメント抜粋 (2010年度)

- ▶ **CCC:** 国や文化の違いによるギャップに対して、考慮すべき点を体系的に学習する事ができ、理解できた。また、講師の経験談なども含まれていたため、文化的背景の違い等の理解に非常に役に立った。
- ▶ **PM:** 国内との相違点や、オフショア開発時に考慮すべき点などを学ぶ事ができた。また、社内では実績が少ないアジャイル開発やVertexで使用しているプロジェクト管理ツールについての説明が有益だった。
- ▶ **Business English:** 自ら英語で会話する内容が中心であった為、会話力の向上には非常に有意義。ビジネス英語を使用する基本的な場面・パターンについては概ね理解した。
- ▶ **Hands On Assignment:** インドにおける開発を経験するとともに、ワーキングスタイルについても学ぶ事ができた。また、自担当での開発やプロジェクトの進め方とのギャップを感じることができ、良い経験となった。



Group Discussion



Buddy Program



A introductory Yoga session